



本市ホームページで閲覧できる市民満足度調査結果

①市が実施した市民満足度調査の結果を踏まえ

鈴木康夫 議員(一新会)

図 今後の市民満足度調査は 継続的に実施する

から定期実施が望ましいが、将来計画を問う。市長公室長 現在、市民からいただいた貴重な意見や提言を、施策ごとに所管部局にて検証中である。その結果を事業の見直しや新たな施策の立案につなげたい。市政を進める上で、常に市民の考えや意識、また変化を把握することは、重要。一定期間ごとに継続的に実施したい。

②満足度調査の自由意見にある、高齢者福祉施設での利用者寄り、解消をするために、受益者負担の考えはないか。保健福祉部長 使われる方の利用日調整など改善を行っている。より多くの方の利用を促進するため、無料を継続する。

③市の関係する掲示物・看板は、市の顔とも言える重要な媒体である。しかし、今はないウエルサンピア京都や法務局京田辺出張所などが表示されており、メンテナンスされていない。その他、老朽化・陳腐化した看板も目立つ。改善を望む。

④松井山手駅前商業施設設立地と都市計画マスタープランコンセプト「誰もが歩いて暮らせるまち」とどう整合性を保つのか。また、懸案の「高速バス送迎駐車場」の確保を計画に入れるべき。建設部長 公共交通の利用促進、また、施設利用者送迎バスなどの対策により混雑を避けるよう開発事業者に指導している。高速バス送迎留車場は、高速京田辺停留所連絡協議会を通じ、依頼中である。

⑤図書返却ポストの駅前立地を望む。教育部長 利便性は上がるが、誤投入などのデメリットもあり設置は慎重に考えたい。

図 病児保育の実施は 実現に向けて検討中



ポリオ予防接種時の診察の様子

河本隆志 議員(民主党)

①子育て支援策について。②病児保育の推進について。③認可外保育施設を利用する家庭に対する支援策について。④認可外保育施設、既存の保育サービス以外の充実策以上の3点を問う。

保健福祉部長 病児保育の実施は、次世代育成支援行動計画に基づき、実現に向けて検討を進めている。①認可外保育施設を利用する家庭の支援については、個別に支援を行う状況はないと考えている。②休日保育は利用者からの要望は現在のところ寄せられていない。

③「新しい公共」について、市の見解を問う。総務部長 より豊かな公共システムを形成するためには、公共サービス提供は行政に独占されるべきではなく、市民やNPO、ボランティア団体

④今後も継続的に本市へ訪れる方が増えるような、観光・商業を備えたイベント等を行う考えは。また、京都府の観光施策である一休寺と連携した具体的な施策やプランは。経済環境部長 「アイツアーズ京田辺」を活用したイベント等を実施し、商工会、観光協会とも連携し、一休さんを活用した土産物の開発など、具体的な取り組みを検討していきたい。

⑤地域組織、民間事業者等、さまざまな主体が持つノウハウを、その内容に応じて活用することで、より効果的かつ効率的にサービス提供を行うことが、新たな都市経営において重要と考える。

図 中学校給食実施の進捗は

図 第1回検討委員会を開催

増富理津子 議員(共産党)



学校給食に関して市民団体と市との懇談会の様子

①平成24年度 介護保険 険の見直し実施される。

医療、介護、予防、生活支援サービスが連携した「地域包括ケアシステム」24時間対応の定期巡回型サービス「生活支援サービス総合事業」などが打ち出されているが、市の取り組みは。また、次期保険料の見直しは、在宅介護への支援、負担軽減として、家族介護の相談窓口の充実とショートステイ(短期入所サービス)の増設を求める。

保健福祉部長 地域包括ケアシステムの確立は、保健福祉部長 地域包括ケアシステムの確立は、保健福祉部長 地域包括ケアシステムの確立は、保健福祉部長

建設部長 生活道路へ進入する車の事故が増加傾向。区・自治会と連携してカーブミラーや啓発看板を設置。規制が必要など。④市道新田辺草内線の道路の傷みで、周辺の家屋への振動や雨による水溜り等の解消の要望が高い。道路の舗装補修を。建設部長 現状は把握している。状況に合った整備手法を検討中である。

図 公園遊具整備の現状は

図 公園は年度内に完了する

奥西伊佐男 議員(一新会)

①二丁田多目的広場の整備と全天候型施設完成に向けた今後の計画と見通し。

教育部長 日よけ設備は課題として進めている。全天候型施設に向けた計画は、市全体の財政的状况を考慮し、一定の見通しが得られた段階で改めて検討する。

②安心安全のまちづくりについて見解を問う。住宅用火災警報器の普及に関して法改正を受け、設置義務が6月から始まったが、現在の設置率と今後の課題は。消防長 本年6月時点で設置率は73.5%となつた。100%達成を目指す。引き続き普及啓発活動を進めていきたい。

建設部長 国道307号以南の事業着手には、あと4~5年は必要。今後整備手法の検討を行う。④ケアホーム施設、特に草内ホームに通じる道路に街灯がなく、夜間は暗く防犯上問題。対策は。安心まちづくり室長 安全策として必要箇所に防犯灯を設置し、改善

建設部長 職員の意識改革を徹底することが重要。従来どおり、不定期に職員の接遇実施研修として実施していく。



新しい遊具が設置された南垣内公園